

南郷っ子



「ありがとう」を形に…

ある新聞のコラムに、演歌歌手の八代亜紀さん(昨年12月30日ご逝去)の言葉が紹介されていました。「家族や身近な人に一日一回は言ってほしい言葉」。それが「ありがとう」というものでした。「ありがとう」の声は、八代さんがステージに立つ原動力であり、また、八代さん自身も「感謝」の心を歌に込めあふれさせていた…。素晴らしいエピソードですね。

「感謝の思いを言葉にする。行動にする。それが、自らを成長させる原動力になる。」「『感謝』は人生を豊かにする。」コラムはこのようにまとめられていました。

折しも、始業式での私から子ども達への提案の一つは「『ありがとう』を声や形に表そう!」でした。2月から3月へ、子ども達の成長と共に、学校生活が、さらに豊かになることをチーム南郷全職員と願い、目指してまいります。

前回の続き「目指す教師像」について①

南郷小の目指す3つの教師像のうち一つ目は、「心身ともに健康な教師」です。(昨年はこの点で、児童にも保護者の皆様にも、御心配をおかけしてしまいましたが…。)「働き方改革」という取組において、私たち教職員は、この改革をとおして整えられるライフワークバランス(仕事と生活を調和させ充実させること)によって、健康な心身を保った充実した姿で、より目の前の子ども達に向き合えるようにしていくことを目指しております。そのために、今後も様々な改革を進めてまいります。どうか引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

＜ 目指す教師像① ＞
「心身ともに健康な教師」
「働き方改革」＝ 教職員自身のライフワークバランス
充実した姿で、子ども達に向き合うために!



たてわり南郷タイム (1/16・24・2/7)

新年第2回目の南郷タイムから、たてわり班の編成で活動が始まりました。まずは各教室で、今後の活動の内容(遊び方)を話し合いました。1年生から6年生が一緒に遊びます。下級生は上級生を見習い、上級生は下級生の世話をしながら、楽しく活動していきます。



避難訓練 (1/15)

被災者の尊い命を偲んで…



消防署の署員の方を講師に、火災を想定した避難訓練を実施しました。休み時間の想定で、戸惑う児童もいましたが、全員無事に避難できました。そして、初期消火の訓練を代表児童と教職員で実践しました。

講話の冒頭では、今年の元日は、石川県の能登半島地震が発生したことに触れ、全員で被災者の尊い命を偲び、黙とうを捧げました。



凧よ舞え 元気な子らの 夢乗せて

(1年 手作り凧の凧揚げ遊び)



4年福祉体験学習 (1/18)

4年生は社会福祉協議会の方々を講師にお招きして、福祉体験学習を行いました。アイマスクをして、友達の誘導で校舎内を歩く活動や、点字で自分の名を打って、視覚障害の方に読んでいただく活動を通して、視覚障害の方の身になって行動することを体験的に学びました。

